

令和6年度全国学力・学習状況調査における
北九州市立 枝光 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

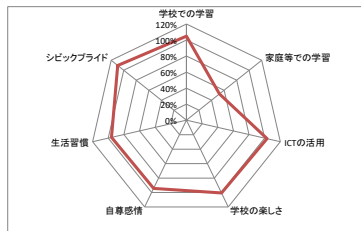
- (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.6	60
全国	9.5	68	10.1	63

- (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	「書くこと」の領域や「我が国の言語文化に関する事項」は、良好な状態にある。「話すこと・聞くこと」の領域や「言葉の特徴や使い方にに関する事項」に課題がある。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができること。	
	努力が必要な問題	文の中における主語と述語との関係を捉えることができること	
算数	全体的な傾向や特徴など	「数と計算」の領域は、概ね良好である。「図形」「変化と関係」「データの活用」の領域に課題がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる。	
	努力が必要な問題	速さの意味について理解すること	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



質問調査の結果分析
・「学校に行くのは楽しいか」「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができているか。」に対して、概ね良好な回答をしている。学校生活を楽しみながら学習に取り組む姿が、確立している。
・「地域や社会をよくするために何かしてみたい。」とシビックプライドが育っている。
・家庭等での学習に関して、家庭での学習の必要性や方法（自主学習、ICTを活用すること）等を模索していく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科に関する取組

・枝光っ子タイムで、音読や読書、コグトレに取り組み、チャレンジタイムでドリルアプリ中心に基礎基本の習熟と学力の定着を図る。

・学習全般でICTの活用を含めた学習展開の変換（探究的で協同的な学びの充実）を図る。

- ② 家庭生活習慣等に関する取組

・継続的に自主学習ノートの取組を進めることで、家庭での学習の質をの向上を目指す。

・児童の自尊感情の更なる高まりを目指すため、学校、学年だより、あったか放送、学期ごとの振り返り等で、児童の頑張りを学校の目指すところを見え、家庭に向けて発信する。

・保護者、地域との信頼関係を築く。